

長崎市における社会動態

令和6年度社会動態が大きく改善！

令和5年度

転入者 10,253人
転出者 12,806人



2,553人の転出超過



1,502人

の改善

令和6年度

転入者 10,434人
転出者 11,485人



1,051人の転出超過

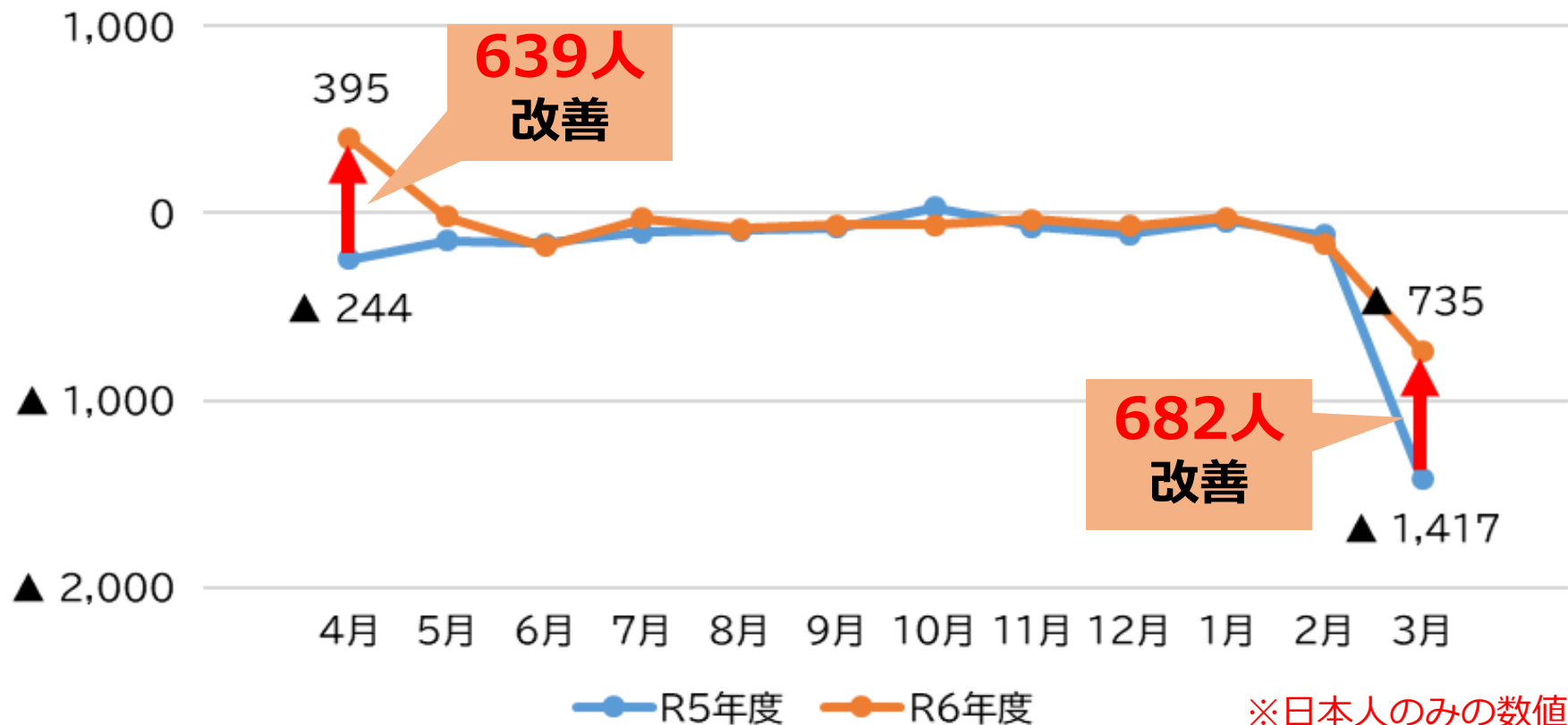
※日本人のみの数値

※外国人込みだと1,522人の改善

長崎市における社会動態

令和5・6年度の月別社会動態比較

令和6年度は移動が多い3月、4月が大きく改善



長崎市における社会動態

改善の特徴

- 転入者数も増加（改善）しているが、**転出者数が大きく減少（改善）**

転入者数 181人の増（改善）

（令和5年度：10,253人⇒令和6年度：10,434人）

転出者数 1,321人の減（改善）

（令和5年度：12,806人⇒令和6年度：11,485人）

- 年齢別に見ると、**ほぼ全ての年代**で転出者数が減少（改善）

特に、**若い世代**（10代後半から40代前半）の転出者数が大きく減少（改善）

- 地域別に見ると、**ほぼ全ての地域**で転出者数が減少（改善）

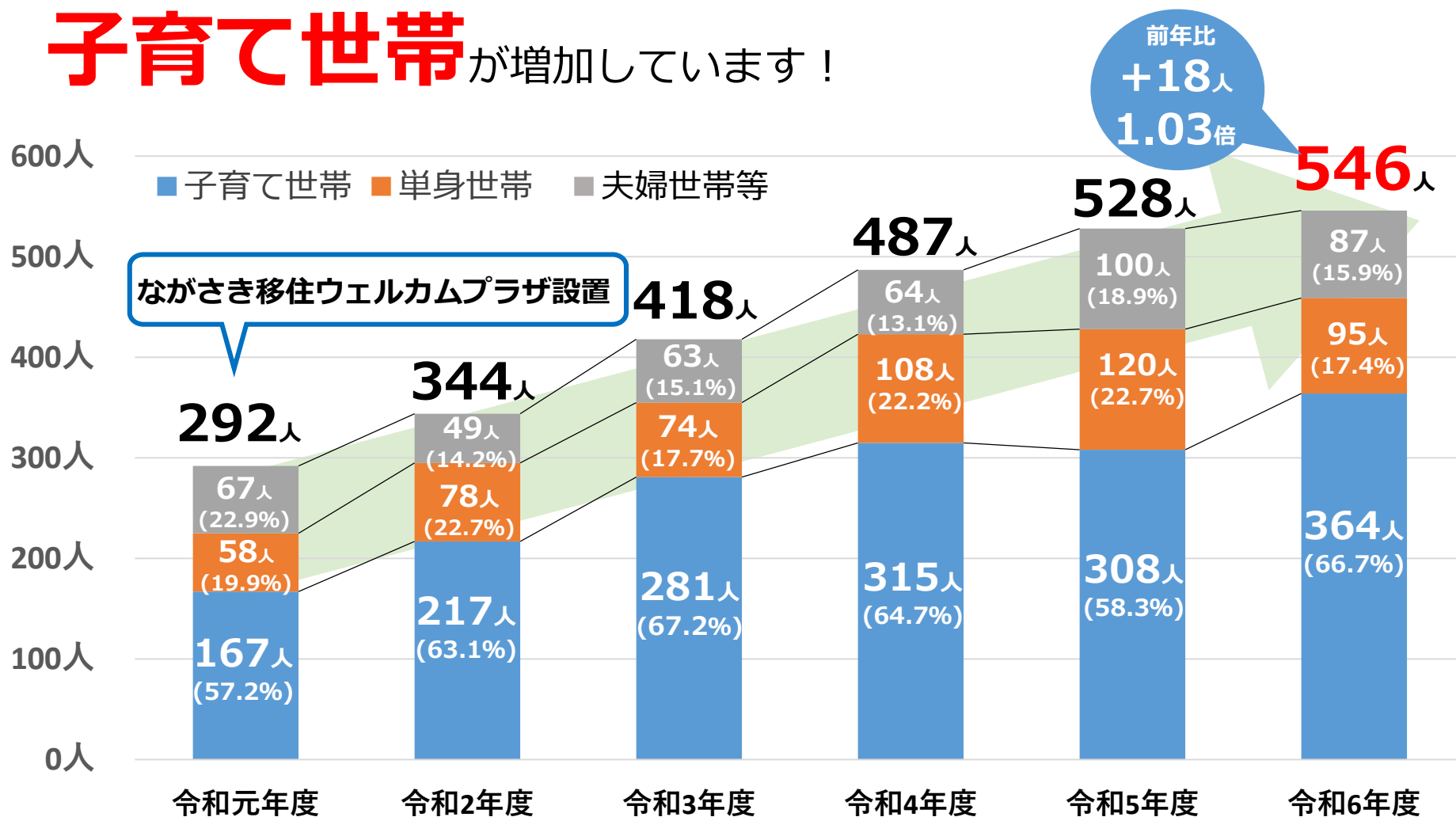
特に、**福岡、東京**への転出者数が減少（改善）

令和6年度の長崎市への移住者数

令和6年度の長崎市への移住者数は、

6年連続の増加、前年度から**18**人増加の**546**人で、

子育て世帯が増加しています！



移住支援のこれまでの取組みの経過

市独自の制度

R1～

- ・ **ながさき移住ウェルカムプラザ**開設
- ・ 就職支援相談員による**転職支援**開始
- ・ 大都市での移住相談会への参加
- ・ **子育て世帯ウェルカム補助金**開始
補助額：35万円
- ・ 移住支援ポータルサイトリニューアル

R3～

- ・ 子育て世帯ウェルカム補助金
対象拡大(テレワーク等)、対象件数増
- ・ **ワーケーション**関係事業開始

R5～

- ・ **ながさきお試し暮らし応援事業費補助金**開始
補助額：9万円上限
- ・ 東京で市独自の移住相談会開催
- ・ 子育て世帯ウェルカム補助金対象件数増

R2～

- ・ **オンライン相談**への対応
- ・ 子育て世帯ウェルカム補助金
対象件数増

R4～

- ・ 情報発信の強化（SEO対策、
SNS投稿強化）

R6～

- ・ **移住者交流会**
- ・ 子育て世帯ウェルカム補助金
対象件数増
- ・ **少子化対策アクションプラン**
に基づく事業開始

～R1

- ・ 相談員による
移住相談対応
- ・ 移住相談会への
参加
- ・ 移住支援ポータル
サイト運営

H28～

- ・ ながさき移住
サポート
センター開設

R1～

- ・ **移住支援補助金**
制度開始
補助額：100万円(2人以上)、
60万円(単身)

R2～

- ・ 移住支援補助金
対象拡大（居住要件）

R4～

- ・ 移住支援補助金
子ども加算(30万円)、
対象件数増

R6～

- ・ 移住支援補助金
対象件数増

R3～

- ・ 移住支援補助金
対象拡大(テレワーク等)、
対象件数増

R5～

- ・ 移住支援補助金
子ども加算(100万円)、
対象件数増

国・県の制度